

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	高岡市立太田小学校
授業者	教諭 濱元 維子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

出動！太田守り隊！－自分たちにできることは－

#### 1-2. 学年

第5学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、特別な教科 道徳、特別活動

#### 1-4. 単元の概要

本校は、海に近い場所と山に近い場所それぞれに住んでいる児童がおり、津波や土砂崩れの危険のある地域である。定期的に避難訓練を行い、自分の命を自分で守ることができるように継続して指導を行っているが、実際に大きな災害を経験したことがない児童にとっては、切実感をもつことが難しく、自分事として捉える点に関して課題がある。そこで、5年生での少年少女火災予防クラブ（BFC）入隊を機に、総合的な学習の時間のテーマを防災とした。火事だけでなく、地震や津波に関する防災についての理解を深め、自分たちにできることを考え実践していく学習を進める。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元では、自分の身の回りの環境の様子から災害の可能性に気づき、一人一人が自分の住む地区の避難方法や避難場所を考え、自分たちにできることを発信していくことができるようにすることをねらいとしている。学校や地域を守るために「気づき、考え、行動する」ことを意識しながら活動する。児童が疑問に思ったことを実際に消防団に聞きに行ったり、自分の町内の危険箇所を探したりする。その上で、他教科との関連を図り、より多面的に災害について捉えることができるようにする。社会科では、我が国の国土や気候の特徴などについて理解できるようにし、理科では、天気図や雲画像から台風の進路予想や被害について理解できるようにする。道徳科では、地震や津波などの困難を乗り越えて自然と共に生きてきた人間のたくましさや偉大さに気付くようにする。これらの学習を通して、学校や地域を守るために児童自身が自ら「気づき、考え、行動する」心を育てていきたい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・身近な地域の防災に関心を持ち、校区の災害や防災活動について調べ、自分の課題をもつ力
- ・必要な情報を収集し、校区の防災のために自分にできることを考え、実践する力
- ・調べたり実践したりしたことを、ICT等を活用してまとめ、全校や地域に発信する力
- ・地域の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に参画しようとする態度

1-7. 単元の展開（全44時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / ○主な評価 外部連携 / 使用教材等
11	7月 ・岐阜県豪雨災害(最新の災害)についての新聞記事を取り上げ、被害状況や復旧の様子をリアルタイムで捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の活用</li> <li>・図書館利用の指導</li> <li>・市立中央図書館、市立伏木図書館</li> </ul> ○全国各地で起こっている災害を自分ごととして受け止め、課題意識をもつことができる。
4 + 課 外	8月（夏季休業を含む） ・日本の災害や、世界の災害についてインターネット等から情報収集、過去の災害について内容を捉える。 ・自宅周辺の危険箇所の写真撮影したり、自宅にある非常持ち出し品を調べたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用方法の指導</li> <li>・ネットモラルの指導</li> <li>・インタビューの仕方等の指導</li> </ul> ○身近な地域の踏査活動を行い、防災について、自分の課題を見付けることができる。
7	9月 ・東日本大震災について新聞記事や動画等を用いて被害の大きさを実感させる。 ・富山県の過去の災害について過去の新聞記事を用いて知る。 ・MY防災マップづくりを始める。(危険箇所のポイントを書き込む) ・学校訪問研修会(「避難スイッチ」避難する際の最優先事項を考える。……本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の活用</li> <li>・太田保育園との合同津波避難訓練 中止</li> <li>・国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所出前講座「みなと学習会」</li> <li>・学校訪問研修会で、高岡市教育委員会及び西部教育事務所から指導者を招き、公開授業を実施</li> </ul> ○「避難スイッチ」避難する際の最優先事項を話し合う中で、友達の取組や気付きのよさに知り、自分の取組に生かしていこうとする。
8	10月～11月 ・MY防災マップづくりを進める。 避難経路の確認、避難スイッチの見直し ・MY防災マップづくり(清書)をする。 ・高岡市危機管理室による出前授業を受講する。(避難所の役割、段ボールベッド作り、非常食試食※自宅にて) ・地区別児童会に向けての準備を進める。(地区別に資料作り、台本作り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な教科 道徳との関連を図りながら、「自助・公助・共助」について学ぶ場の設定</li> <li>・高岡市危機管理室 出前授業「避難所の役割」</li> <li>・プレゼンテーションソフトの活用やポスターセッションの仕方の指導</li> </ul> ○これまでの調査活動や専門家の話を基に、意欲的にMY防災マップづくりに取り組もうとする。
7	12月 ・発表練習(呼びかけメッセージ作り、リハーサル等)を行う。 ・地区別児童会で同じ地区の友達に防災について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当教員の指導を受ける機会の設定</li> </ul> ○全校や地域に防災を啓発するために、効果的な方法を考えて分かりやすく伝えることができる。
7	1月 ・保育園へ防災についてのプレゼンテーション訪問を行う。 ・市立公民館に防災パンフレットを配置してもらうよう依頼する。 ・これまでの取組を振り返り、キャリアパスポートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの取組として、読売新聞社の取材を受ける機会の設定(保育園訪問、公民館訪問の様子)</li> </ul> ○地域の一員としての自覚をもち、地域の防災のために常に何ができるのかを考え続けていこうとする。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・自分の住む地域の地形から災害を予想し、避難方法を考えることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の課題を確かめる。（5）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">My ひなんスイッチを考えよう</div> <p>2 災害を予想する。（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海が近いと津波の危険性が高い。</li> <li>・山が近いと土砂崩れの危険性が高い。</li> </ul> <p>3 発表・話し合う。（20）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの祖母は足が不自由だから、ぼくは「はやい」スイッチをもつようにするよ。</li> <li>・私の家は海が近いから、津波の可能性を考えて「高い」スイッチを考えたよ。</li> <li>・ぼくの弟は赤ちゃんだから、避難は早くした方がいいと思う。だから「はやい」スイッチも考えた方がいいかもしれないな。</li> <li>・Aさんの家は9人家族だから、「はやい」スイッチも考えた方がいいと思うよ。</li> </ul> <p>4 My スイッチの見直しをする。（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなスイッチにしようか迷っていたけど、西田地区は山に囲まれているから、土砂災害を考えたら、海沿いまで避難した方がいいな。そうすると時間がかかるから、「はやい」スイッチにしよう。</li> </ul> <p>5 まとめ（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を聞いて、自分に合ったスイッチを見付けることができたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の地形や自分の家族構成などをもとに災害が起きたときの避難方法を振り返るように促す。</li> <li>・自分の家にシールで印を付けてある地図を大型テレビに映して学級全体に見せながら、自分が住む地域の地形を説明し、災害を予想しやすくする。</li> <li>・予想できる災害によって、避難場所までの距離を考えて避難するだけでなく、家族構成も含めて、自分に合った避難方法を考えて発表するようにする。</li> <li>・友達の発表を聞く際には、最優先することが何なのかを考えながら聞くようにすることで、自分との共通点やアドバイスを見付けられるようにする。</li> <li>・見直した児童はふせんに書き表すようにし、地図に位置付けるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>知・技</b></p> <p>自分の住む地域の危険箇所を見付けて起こりうる災害を予想し、避難場所や備えを考えることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習感想をノートに書き込む。</li> </ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・総合的な学習の時間のテーマに今日的課題である「防災」を取り上げ、長期にわたって学習に取り組んだが、児童は、災害を自分ごととして受け止め、学習意欲を持続することができた。
- ・専門家を招聘して学習テーマに合った話を聞いたり、地域住民と直接交流したりする機会は、子供が自分の考えを深める契機となった。
- ・学校訪問研修会や新聞社の取材等で授業を公開することにより、教師も子供も自分の取組に自信をもったり、次の活動への意欲を高めたりすることができた。
- ・児童は、「防災」をSDGsの視点で見直すことで、身近な地域で活動しながら地球規模で考える姿勢が身に付いた。

### 4. 今後の課題

- ・総合的な学習の時間を核に取り組んでいるが、本学級での学びをもっと全校児童、地域住民に発信し、広げていきたい。コロナ禍ではあるが、避難訓練や避難のシミュレーション等、実際の行動をより多く起こさせたい。そして、児童の活動を学校全体や地域へ広げ、恒常的な活動としたい。
- ・担当した教師自身、児童の活動が形骸化しないよう、より自分ごととして命を大切に行動できるよう学習内容を充実させていきたい。校長や先輩教員の指導・助言を基に防災教育をよりよいものとしていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

写真の使用に当たっては、どの写真を使用するのか、事前に知らせてほしい。本校ホームページ等での使用については保護者から承諾を得ているが、外部に出る場合は学校の方で保護者に再確認を行っている。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

【活動の様子（写真）】

○ 9 月 学校訪問研修会



○ 9 月 国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所出前講座 「みなと学習会」



○ 1 0 月 危機管理室出前授業「避難所の役割」



○ 12月 読売新聞SDGsの取組取材



○ 12月 地区別児童会にて 防災についての発表（地区の友達対象）



○ 1月 公民館・保育園訪問(読売新聞取材)

